

第六十四回帝國議會
衆議院

米穀統制法案外一件委員會會議錄(速記)第十回

會議

昭和八年三月三日(金曜日)午後二時十分開

議

出席委員左ノ如シ

委員長 東 武君

理事出井 兵吉君 理事久山 知之君

理事佐藤 重遠君 理事高橋 守平君

理事原 淳一郎君

河野 一郎君 八田 宗吉君

尾崎 天風君 田中 貞二君

福井 甚三君 松山常次郎君

清家吉次郎君 白神 邦二君

三善 信房君 土井 權大君

宮崎 一君 石川 又八君

村松 久義君 高田 耘平君

小池 仁郎君 由谷 義治君

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 後藤 文夫君

出席政府委員左ノ如シ

陸軍主計監 小野寺長治郎君

農林參與官 松村 謙三君

農林省米穀部長 荷見 安君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

朝鮮總督府財務局長 林 繁藏君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀統制法案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案

(政府提出)

○東委員長 是ヨリ開會致シマス、陸軍ノ

政府委員ヨリ先達ノ三善君ノ質問ニ對シ

テ、北海道ノ燕麥購入ノ價格ニ付テノ内容

ヲ説明シタイト云フコトデ、只今出席シテ

居リマスルカラ、其御説明ヲ願フコトニ致

シマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○小野寺政府委員 先達ノ御尋ノ燕麥ノ購

入價格決定ニ付テ、如何ナル要領ヲ以テ陸

軍ハヤツテ居ルカト云フ御問ニ對シマシテ

御答致シマス、補償價格ノ決定ハ、毎年概

ネ八月頃ニ當該年度ノ補償價格ヲ決定致シ

マス、其價格ハ農家ノ燕麥生産費——實費

ニ該當スルモノデアリマシテ、之ニ依ッテ決

定致シマス、其基礎項目ハ概ネ次ノ通りデ

アリマス、一段歩當リノ種ノ代金、ソレカ

ラ肥料代、耕作費、小作料、農具費、梱包

費、公課税、検査料、運搬費、雜費等デア

リマス、尙ホ申上ゲテ置キマスガ、時價ガ

此補償價格ヨリ高イ時ハ、時價ニ依ッテ買ヒ

マス、ソレカラ時價ガ補償價格ヨリ低イ時

ハ、補償價格ニ依ッテ購入致シテ居リマス

○三善委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ大

體承知致シマシタガ、今ノ御説明ノ中ノ運搬

費ト云フノハ、運賃ヲ指スノデアルト思ヒ

マスルガ、左様承知シテ宜シウゴザイマスガ

○小野寺政府委員 運賃デゴザイマス

○高田委員 此際十分間バカリ質問サシテ

戴キマス、第一朝鮮當局ノ御意見ヲ伺ヒタ

イノデアリマス、ソレハ過般ノ委員會ノ節

ニ、朝鮮總督府ニ於テ自治的統制ノ爲ニ相

當施設ヲスルト云フコトノ御答ガアッタヤ

ウデアリマス、是ハ非常ニ必要ノ事ト存ジ

マスルガ、其内容ハ大體ドンナ風ナ事ニナッ

テ居リマスガ、マダ決定ニハ相成ラヌト存

ジマスケレドモ、大體概略ダケヲ參考ノ爲

ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○今井田政府委員 只今ノ御質問ニ御答致

シマスルガ、朝鮮ニ於テノ出廻期ニ於ケル

米穀ノ保管ノ問題デアリマスガ、澤山ノモ

ノニ付キマシテハ、季節ノ調節ヲ致シタイ、

此事ニ付キマシテハ、今回ノ米穀統制法ノ

付託議案

米穀統制法案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

運用ニ依リマシテ、十分ニ目的ヲ達セラレ

ルコト、考ヘテ居リマスガ、併シ朝鮮トシ

マシテモ、只今御話ノ自治的ト申シマスガ、

經濟的ト申シマスガ、其統制ヲ致シタイ、

斯様ニ考ヘマシテ、色々方法ヲ計畫シテ居

ルノデアリマス、其内容ニ付キマシテハ、目

下關係ノ各方面ト協議中デアリマシテ、具

體的ニ、正確ニ申上ゲ兼ネルノデアリマス

ガ、大體ヲ申シマスレバ、先ヅ現在米穀ノ

保管ノ施設ガ鮮内ニ於テ十分デナイ、目下

倉庫ノ計畫中ニ屬スルモノモアリマスガ、

ソレダケヲ以テシテハ尙ホ不十分デアリマ

シテ、米穀倉庫、農業倉庫、或ハ野積ノ方

法等ニ依リマシテ、保管ノ施設ヲ完備シタ

イ、斯様ニシマシテ相當數量ノ米穀ヲ保管

スル、保管シタ物ニ對シマシテハ、出來ル

ダケ低利ナ資金ヲ潤澤ニ供給シマシテ、出

來秋ニ於ケル出廻米ノ調節ヲ致シタイト考

ヘテ居リマス、尙ホ其他ニ、現在鮮内ニ於

キマシテ、貧農階級ガ米穀ヲ消費スル場合

ニ、多クハ地主カラ高イ利子ヲ拂ッテ食糧

ヲ借りテ居ルヤウナコトニナッテ居リマス、

是等ニ對シマシテハ、地方ニ於キマシテ相

當ノ施設ヲ致シマシテ、出來ルダケ低利ニ
斯様ナ米ノ供給ヲ致シタイ、彼地デハ社還
米ト稱シテ居リマスガ、此制度ヲ十分ニ運
用致シマシテ、出來ルダケ過重ナラザル負
擔ニ於テ、他ノ雜穀ニ比シテ有利トマデハ
行キマセヌデモ、著シク不利デナイ方法ニ
依リマシテ、貧農ノ米ノ消費ヲ容易クスル
ト云フコトニ致シマシテ、多少トモ鮮内ニ
於テ消費セラレル米ヲ多クシタイ、斯様ナ
事ニ付キマシテ、種々協議ヲシテ居ル次第
デアリマス

○高田委員 次ニ第二ニ極メテ簡單ナコト
ヲ伺ヒタイと思フ、ソレハ第四條ノ「月別
平均のナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ
出廻期ニ於テ云々」ト云フ此條項ニ付テ起
ル疑問デアリマス、私ハ此月別平均のニスル
爲ニ、出廻期ニ於テ或ル一定ノ數量ヲ買フ
ト云フコトナラバ、却テ出廻期ニ非常ニ市
場ニ多量ノ米ガ集ッテ來ルト思フノデアリ
マス、ソコデ私ハ此問題ハ米穀統制委員會
ノ時ニ伺ッタ事デスガ、結局其心配ヲ有ッテ
居ル、却テ月別平均ヲ破ルヤウナコトニナ
リハセヌカト云フ疑ヲ有ッテ居ル、之ニ對シ
テ其當時、是バカリヲアルノデハナイ、他ノ
色々ノ施設ヲアル、例ヘバ貯藏米ノ獎勵モ
ヤリ、農業倉庫、産業組合ヲ指導シテ、サ

ウシテ自治的統制ヲヤラセルト云フ御意見
ガアツクデアリマス、無論サウト思フガ、
之ヲ實行スルニハ相當ノ豫算ガ要ルト思ヒ
マス、ドウ云フ意味ニ於テ相當ノ豫算ヲ計
上シテ、之ヲ月別平均のニスルカ、見様ニ
依ッテハ却テ月別平均ヲ破ルヤウナ虞ガア
ルカラシテ、其弊ヲ除クニハ、自治的統制
ヲ完全ニヤラナケレバナラスト思フノデア
リマスガ、ソレニ對シテドウ云フ程度ノ施
設ヲ爲サントスルノデアリマスガ、參考ノ
爲ニ伺ッテ置キタイ

○後藤國務大臣 自治的統制ニ付キマシテ
ハ、倉庫ノ建設ヲ助成シタリ、或ハ低利資
金ノ供給ヲ致シタリ、或ハ保管ノ助成ヲ致
シタリスルヤウナ、是マデ行ッテ居リマスル
方法ヲ今後モ有力ニ、出來ルダケ實行シテ
参リタイト云フ考デアリマス、今度時局匡
救ニ關聯シテ、更生施設ノ中ニモ倉庫ノ助
成ノ費用ヲ特ニ増額シテ計上シテ居リマ
ス、ソレデ財政關係其他ノ許ス限り、是マ
デニ實行シツ、アル方法ヲ、更ニ有力ニ實
行シテ参ルヤウニ致シタイト云フ考デ、
ソレハ見積額ハ豫算關係ニ入ッテ居リマ
ス、ソレヲ一層財政關係ガ許セバ、其方ヲ
進メテ参リタイト、斯ウ云フヤウナ考デア
リマス

○高田委員 次ハ第十條ニ關スル問題デア
リマス、第十條ノ、是ハ河野君ガ一寸質問
シタト思ヒマスガ、米穀生産費、家計費並
ニ米穀其他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動
及價格ノ調査ノコトデアリマス、是ハ私ハ
非常ニ必要ノコト、思ッテ居リマスル、統計
ノ誤ッテ居ル爲ニ、隨分間違ッタクコトモアル
ヤウニ存ジマスルカラシテ、相當ノ經費ヲ
要求シテ、現在以上ノ生産ノ調査、家計ノ
調査及米穀ノ現在生産高ヲ、キチント調査
シナケレバナラスト思ヒマスガ、之ニハ無
論八年度ノ豫算ニ、相當ノ追加豫算ノ要求
ヲ爲サツアルコト、存ジマスルケレドモ、
凡ソドウ云フ程度ニ於テ進ンデ居リマスル
カ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 先達河野君ノ御質問ニモ
御答シマシタ通り、吾々モ尙ホ今日以上ノ
正確ナ調査ヲスルコトノ必要ヲ感じテ居ル
ノデアリマス、ソレデ豫算ニ金額ノ要求ハ
致シテ居リマス、マダ具體的ニ其程度ハ決
マルニ至リマセヌケレドモ、或ル程度ノ經
費ヲ得テ、今ノ調査方法ヲズツ改善シテ、
實ハ實現ガサレ得ルモノト今ハ考ヘテ居リ
マス

題トナツテ、新聞紙上デ拜見スレバ、政友會
ノ各位ガ——新聞デスカラハッキリ分リマ
セヌガ、或ル程度ノ質問ヲ爲サツテ、ソレニ
農林大臣ガ答ヘルヤウニナツテ居ルト云フ
コトガ、新聞ニ出デ居リマス、要スルニ三點
デアリマス、私ハ之ニ付テハ先達以來ノ政
府ノ答辯デ、政府ハ相當ノ考慮ヲ拂ハレル
コト、信ジマス、併ナガラアノ三點以外ノ、
即チ戸數割ノ一部ヲ加フルトカ、或ハ部落
費ノ一部ヲ加フルトカ、或ハ運賃ヲ加フル
トカ云フコト以外ニ、研究スレバ二三ノ點
ガアルヤウニモ思フ、例ヘバ肥料ニ對スル
利子ノ問題モ考ヘマスレバ考ヘラレナイコ
トモナイと思フ、其外ニモアルト思ヒマス
ガ、斯ウ云フ點ニ付テ、私ハ何レドウ云フ
形式ヲ御採リニナルカ存ジマセヌガ、此點
モ相當其道ノ學者及ビ知識ノアル人々ヲ御
集メニナツタヤウデアリマスカラ、委員會ヲ
御開キニナルカドウカ分リマセヌガ、其何
レニセヨ、此間マデ論點トナリマシタ三ノ
外ニ、只今申上ゲマシタ二三ノ點ガアリマ
スカラ、其點ニ付テモ相當ノ考慮ヲ拂ハレ、
御研究ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、如何デア
リマスカ

○高田委員 最後ニ生産費ノ問題、此間中
ヨリ生産費ノ問題ガ大分本委員會ノ重大問
題トナツテ、新聞紙上デ拜見スレバ、政友會
ノ各位ガ——新聞デスカラハッキリ分リマ
セヌガ、或ル程度ノ質問ヲ爲サツテ、ソレニ
農林大臣ガ答ヘルヤウニナツテ居ルト云フ
コトガ、新聞ニ出デ居リマス、要スルニ三點
デアリマス、私ハ之ニ付テハ先達以來ノ政
府ノ答辯デ、政府ハ相當ノ考慮ヲ拂ハレル
コト、信ジマス、併ナガラアノ三點以外ノ、
即チ戸數割ノ一部ヲ加フルトカ、或ハ部落
費ノ一部ヲ加フルトカ、或ハ運賃ヲ加フル
トカ云フコト以外ニ、研究スレバ二三ノ點
ガアルヤウニモ思フ、例ヘバ肥料ニ對スル
利子ノ問題モ考ヘマスレバ考ヘラレナイコ
トモナイと思フ、其外ニモアルト思ヒマス
ガ、斯ウ云フ點ニ付テ、私ハ何レドウ云フ
形式ヲ御採リニナルカ存ジマセヌガ、此點
モ相當其道ノ學者及ビ知識ノアル人々ヲ御
集メニナツタヤウデアリマスカラ、委員會ヲ
御開キニナルカドウカ分リマセヌガ、其何
レニセヨ、此間マデ論點トナリマシタ三ノ
外ニ、只今申上ゲマシタ二三ノ點ガアリマ
スカラ、其點ニ付テモ相當ノ考慮ヲ拂ハレ、
御研究ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、如何デア
リマスカ

法ヲ立テタイト云フ考デ居リマス、ソレダケヲ申上ゲテ置キマス

○河野委員 私モ簡單ニ一二質問ヲ致シタイトアリマス、ト申シマスノハ、米ニ關聯致シマシテ、最モ重大ナル肥料ノ問題ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒマス、最近新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスルト、全購聯ガ滿鐵ガ經營致サントシテ居リマスル大連ノ硫酸製造會社ニ對シテ、投資セントシテ居ル、而モソレガ資本ノ半分位ノモノヲ投資シヨウトシテ居ルト云フコトヲ書イテ居リマスカ、是ハ事實デアリマスカ、ドウデアリマスカ、其御答辯ヲ願ヒタイ

○後藤國務大臣 全購聯ガ滿鐵ノ主タル關係ヲ持ツ硫酸製造會社ノ資金ノ一部ニ、投資ヲシタイト云フ考デ、折衝シテ居ルコトハ私ハ承ッテ居リマスガ、マダ具體的ニドウ云フヤウニ決ツタカ承リマセス

○河野委員 時間モアリマセスカ極ク簡單ニ質問致シマスカラ、簡單ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、ト申シマスノハ、最近肥料商組合ノ運動ニ依リマスルト、全購聯ガ餘リニ色々ナモノニ手ヲ出シ過ル、又政府ガ其片棒ヲ擔イデ、全購聯ヲ大ニ援ケテ、色々ナコトヲヤラセ過ルト云フ非難ガ非常ニ強イノデアリマス、此點ハ私ハ肥料商

組合ノ主張ガ間違ヒデアッデ、ドコ迄モ安イ

肥料ヲ農家ニ配給スル意味ニ於テ、政府ハ出來ル限り全購聯ヲ應援シナケレバナラヌ、出來ル限りノ補助助成ヲスベキデアルト云フ確信ヲ持ッテ居リマスガ、聯ッテ考ヘマスルニ、只今ノ御意見ノヤウニ、又全購

聯ガ考ヘテ居リマスカウニ、全購聯ソレ自體ガ滿鐵ノ計畫致シマスル所ノ硫酸會社ノ株ヲ持ツト云フコトハ、是ハ要ラザルコトト私ハ考ヘマス、何故ナラバ斯ウシタ危險負擔ヲシテ、全購聯ノヤウナ農民ノ相互ノ保護ヲ圖ル所ノ組合ガ、自ラ其危險負擔ヲシテ、生産者ノ立場ニナル必要ガ何處ニア

ルカ、生産者ノ立場ニ立ッテ資本家ノヤウナ仕事ヲスル必要ガ何處ニアルカ、サウ云フ餘ツタ費用ガアルナラバ、何故ソレヲ農村救済ノ費用ニ使ハスカ、肥料ヲ分配スルニモ、全購聯ハ不景氣ノ農村カラ現金デピシ

ビシ取上ゲルト云フヤウナコトヲシテ居リナガラ、何ダッテサウ云フ金ヲ使フカ、滿鐵ト一緒ニナッテ硫酸ノ製造ニ使フ、サウ云フコトハセヌデモ宜イ、サウ云フコトヲヤリタイト思ッテ居ル資本家モ澤山アレバ、又サウ云フコトニ向ッテ充當スベキ資本ハ、他ノ方面カラ政府ガ考慮シテヤルカ、滿鐵自身ガ考慮スベキデアル、ソレハ澤山アル、折

角農村ノ爲ニ充ツベキ資金ヲ、全購聯ガ滿洲ヘ持ッテ行ッテ、硫酸ノ工場ヲ建テル費用ニ使フト云フコトハ、甚ダ間違ッタ考デナイカト云フコトヲ、固ク信ジテ居リマス、之ニ對シテ農林大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置キマス

○後藤國務大臣 是ハ御意見ノ相違ニ依ルコト、思ヒマス、全購聯ハ肥料ノ販賣配給ヲスルト共ニ、調合肥料等ノ作業ヲモヤッテ居リマス、全購聯ガ出來ル限り安イ肥料ヲ得テ、農民ニ配給スルコトノ出來ルト云フ立場ヲ取りマスルコトハ、農民ノ爲ニ肥料全體ヲ安ク供給サレルヤウニ、次第ニ氣

運ヲ導クト云フ上ニ、非常ニ效果ノアルコト、思ッテ居リマス、今回滿鐵ノ硫酸會社ノ如キモ、此主體ハ滿鐵デアリマスシ、計畫モ可ナリシカリシタモノデアリマス、相當安價ノ肥料ヲ供給スルニ至ルデアラウト

思ッテ居リマス、其處ニハ相當ニ肥料關係ニ於テ、農民ノ結合體デアアル、農民ノ階級ヲ其儘表現スル立場ニ居リマスル全購聯等ガ、有力ナ關係ヲ付ケルト云フコトガ、日本ノ農民ノ將來ノ爲ニ非常ナ利益ヲ齎スモノデアラウト考ヘテ居ル譯デアリマス

○河野委員 其硫酸ノ會社ノ株ヲ持ツコトガ、ドウシテ安イ肥料ヲ得ルコトニナリマスカ、其點ヲ一ツ伺ヒマス、會社ノ株ヲ持

タナケレバ安イ肥料ガ買ヘナイカ、會社ノ株ヲ持ッテ居ルカラ、其處デ拵ヘル肥料ヲ安ク買ヘルト云フ理由ガドコニアリマスカ

○後藤國務大臣 滿鐵ハ御承知ノ通り、政府トモ深い關係ノアル會社デアリマスケレドモ、更ニ其滿鐵ガ自分ノ傍系ノ會社ヲ作ッテ、各方面ノ資本ヲ集メテ、之ヲ經營シヨウトシテ居ルノデアリマス、ソコデ此農民

ニ肥料ヲ賣ルト云フコトニ、最モ深い關係ヲ今日持ッテ居ル全購聯ガ、資本ノ一部ヲ投資シテ、其會社ノ經營ノ上ニ有力ナル地歩ヲ占メテ居ルト云フ事柄ガ、會社ガ今後肥料ヲ販賣スルト云フ點ニ於キマシテモ、色

ヲ要シ、且又今日、科學文明ノ進步ノ際ニ當ッテ、ドウ云フ新ナル發明ガ出來ルカ分ラスト云フノデ、硫安ノ製造ハ非常ニ危險ナ事業トサレテ居ルノデアリマス、若シ一度ビ現在ノ製造方法ヨリモ、更ニ一歩進シタル所ノ製造方法ガ發見サレタ時ニハ、現在ノ組織ガ全ク是ハ過去ノモノニナッテ、非常ニ危險デアルト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソレニ向ッテ、大シテ安イ肥料ガ買ヘルデモナイノニ、又全購聯ノ本來ノ使命カラ言ッテモ、何モ硫安ヲ拵ヘル株ヲ自分ガ一口持タヌデモ、外ニ全購聯トシテヤルコトガ澤山アル、サウ云フ要ラザル所ニ全購聯ガ嘴ヲ入レルカラ、一般ノ者カラモ兎ヤ角言ハレルシ、又農民カラ考ヘテモ、全購聯ニ何モ要求スルコトハナイ、滿鐵ト一緒ニナッテヤルコトナンカ要求シテハ居ナイ、農民ノ要求スルコトハ、安イ肥料ヲ配給シテ呉レト云フコトデアッテ、又政府ガ多額ノ補助金ヲ出スト云フノモ、農民ニ安イ肥料ヲ配給シヨウト云フ意味カラ、補助金ヲ出スノデアル、此折角嬴得テ居ル所ノ全購聯ノ資金ヲ、資本家ノ道樂ノヤウナコトニ使ッテ、安イ肥料モ得ラレズニ、趣味カ希望カ理想カ何カ譯ガ分リマセヌガ、サウ云フコトヲ全購聯ニヤラセルコトハ、此農村

非常ノ際ニ、決シテ時宜ニ適シテ居ラヌト云フコトヲ、堅ク信ジテ居ルノデアリマス、コンナコトヲヤルト、必ズ近キ將來ニ全購聯ハ、兎ヤ角言ハレル、ドウモ全購聯ハ要ラザルコトヲヤル、例ヘバ必要モナイノニ「ギヤメル」ヲ賣ッたり、白粉ヲ賣ッたりスルカラ、商人カラ兎ヤ角言ハレルノデアリマス、ソレデ農民ノ本當ノ要求スル所ヲ、農林當局ハ切ニ御感得ニナッテ、全購聯ニ政府カラ多額ノ補助ヲシテ居ルノハ、肥料ヲ安ク配給サセル爲デアル、サウシテ眞ニ農村ノ幸福ノ爲ニ、全購聯ヲ活用スルト云フコトニ御努力願ヒタイト思フ、ドウモ吾々ハ此全購聯ノ行動ハ、政府ガ之ニ補助スル趣旨ト違フト考ヘマスカラ、特ニ其點ニ付テ農林大臣ノ、何ト申シマスカ、御注意ヲ喚起シタイノデアリマス——私ハ是デ打切ッテ置キマス

ガナイノデアリマス、何トナレバ唯其生産費ノミヲ以テ維持サレルト云フコトハ、農家ノ上ニ於テハ、唯不利益ナル點ノミヲ殘スノデアリマシテ、此農家ノ六十億萬圓カラノ大キナ負擔ヲ償却スルト云フコトハ、此重大ナル農産物デアル米ノ價格ノ騰貴スル場合ニ於テ、初メテ之ヲ補ヒ得ラレルノデアリマスガ、サウ云フ場合ノコトガ、未ダ此委員會ニ於テモ論議セラレテ居ナイコトヲ遺憾トスルノデアリマス、之ニ對シテハ、農民ノ方ニ於テモ非常ニ心配ヲ致シテ居ル、之ニ對シテ農林當局ト致シマシテハ、之ヲ、下値ヲ或ハ二十二圓ト致シマスカ、或ハ二十三圓ト致シマスカ、其場合ニ、上値ハ幾ラニスルト云フ御見當ガアリマスレバ、此際ハッキリ農林大臣カラ、責任者トシテ御答ヲ願ッテ置キタイト考ヘルノデアリマス

ヘマス、ソレデ非常ニ一般物價ガ騰貴シテ總テノ物ガ高クナルト云フ時期ニハ、上値ト云フモノガ其關係カラ、相當ニ上ノ方ニ上ッテ行クコトニ相成ルモノト思ッテ居リマス、唯今日家計費ノ調査ガ、ドウ云フ工合ニ出テ參リマスカ、マダ一回ノ調査ヲ試ミタダケノコトデアリマシテ、先達來家計費ニ付テ申上ゲタヤウナ、狀態ニアリマス譯デアリマス

○白神委員 本日ヲ以テ此委員會ハ打切ラ

○後藤國務大臣 其點ハ前ニモ御答ヘシタ

○白神委員 併シ家計費トカ何トカ云フ問

レルコトニナッテ居リマス、元來各委員ヨリ

コトガアルカト思ヒマスガ、ハッキリ何圓ト

題ニ付キマシテハ、是ハ省内ノミデ御決メ

生産費ノ總テノ問題ニ關スル價格ノ維持ト

云フコトハ、實際ニ此計算ヲ出シテ見タ場

ニナルノデアリマスカ、ヤハリ私ガ御尋ネ

云フ問題ニ付テ、色々ト質問ガアリマシタ

合デナイト申サレマセヌ、唯上値ハ、家計

致シタル如クニ、統制委員會トカ、或ハ米

次第デアリマス、私ハ過般本會議ニ於キマ

費、物價其他ノ經濟事情ト云フモノヲ參酌

諮問セラレマシテ、而シテ之ニ依ッテ御決定

シテ、質問致シマシタ通り、農家全體ノ爲

シテ、決メルト云フコトニナッテ居リマス、

マシテモ、豫メ農林當局トシテハ、ドレ位

ニ、此價格ガ餘リニ縮小サレマスルト云フ

隨テ家計費カラ割出サレタ金額ガ、一ツノ

ノ程度デアルト云フ位ノコトヲ、御示シヲ

ト、全ク地方ノ農家ト云フモノガ、浮ブ瀬

標準トナリマス上ニ、又物價ノ關係ヲモ考

願フコトハ出來マセヌデセウカ

ダ攻究シナケレバナラヌ餘地ガ、餘程殘ッテ居リマス、今具體的ナ數字ヲ一寸申上ゲ兼ネ、マス、米穀部長カラ何カ申上ゲル點ガアレバ、申上ゲマセウ

○荷見政府委員 今具體的ノ數字ヲ申上ゲルノハ困難デアリマスガ、大體家計費ヲ調査致シマシテ、是カラ家計米價ヲ算出致シマスル時ノ標準ト云フモノガ、ドレ位ニナルカト云フコトニ付キマシテハ、米價ニ加フベキ、詰リ相互ニ融通ガ出來マスル費目トシテ、法規ニ掲ゲラレテアリマスル嗜好品費、副食物費、修養娛樂費、旅行費、貯金ト云フモノ、一部ト云フ其割合ハ、農林大臣ガ告示致スコトニナッテ居リマスガ、立案當初ニハ、其一割カラ一割五分位ヲ加ヘタラドウカト云フヤウナ話合ヒデ、出來テ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、併シ是ハ今モ大臣ガ仰シヤイマシタヤウニ、唯一回ノ調査デゴザイマスノデ、マダ確定的ニ申上ゲル迄ニナッテ居リマセヌ

○白神委員 今一割五分トカ云フヤウナ御話デアリマスガ、ソレハドウ云フ意味デアリマスカ、家計費總テノモノヲ、生産シタル上ニ持ッテ行ッテ、モウ一ツ一割五分ト云フモノヲ加ヘルト云フコトニナルノデアリマスカ

○荷見政府委員 言葉ヲ節約致シマシタノデ、モウ一言申添ヘテ置キマスガ、大體只今申上ゲマシタヤウナ嗜好品費以下五項目バカリノ總額ノ中カラ、ドレダケヲ米代ニ加ヘテ宜イカト云フコトヲ決メマス際ニ、其一割五分位ヲ米代ニ加ヘマシテ、ソレニ依ッテ最高價格ヲ算出シヨウ、斯ウ云フ風ニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○白神委員 私ハ最後ニ希望ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此折角ノ生産費維持ニ對スル價格維持、之ニ對シテハ政府當局ニ於カレマシテモ、又吾々國民ヲ代表シテ居リマスル意味ニ於テ、是ハ絶對ニ支持セネバナラスト云フコトハ、既ニ議論ガ纏ッテ居ルト思フノデアリマス、ダガ此値段ガ餘リニ縮小サレマスルト云フト、ソレガ聲ニナリマシテ、米價ト云フモノハ、其聲ノミニ依ッテ壓迫ヲ受ケル、サウシテ政府ガ相當ナル米ヲ持ッテ居リマスルガ故ニ、或ル時期ニ於テ上ラントシテモ、其米ノ上ルベキ時期ガナイ、農村ハ唯僅ニ生産費ノミヲ以テ、維持サレルト云フコトニナリマス、浮ブ瀬ハナイノデアリマス、不作ノ時ニ於テ暴騰スルカ——騰貴スルカ、或ハ又經濟界一般ノ好況ニ依ッテ騰貴スルカ、此二ツノ場合シカナイノデアリマス、此際ニ於テ先ニ

其米價ト云フモノヲ、餘リニ縮小サレタ値段ニ於テ決メラレタナラバ、其米價ト云フモノハ、政府ノ持ッテ居ル米ニ落サレテ、此値幅ガ二十圓アリマシテモ、五圓カ七圓シカ上ラナイ、此點ヲ餘程御考慮ノ中ニ入レテ下サイマシテ、サウシテ今後ノ買入値段、賣捌値段ト云フモノニ對スル値幅ヲ、相當ニ擴張セラレタイト云フコトハ、是ハ即チ本法ニ對スル吾々ノ希望デ、是ガ國民ノ一般、農村ノ聲ニ副フノデアリマス、此點ダケヲ希望ト致シテ、農林當局ニ申上ゲテ、私ハ此委員會ニ於ケル所ノ質問ヲ、打切ル次第デアリマス

○三善委員 關聯シマシテ一寸一ツ……只今生産費ノコトニ付キマシテ、白神君カラ尋ネラレ、又家計費ノコトニ付キマシテモ、御答辯ガアッタノデアリマスルガ、私モヤハリ此米ノ價格ヲ生産費ヲ以テ足レリトスルモノデナクテ、相當ナ利潤ガナカランケレバナラスト云フコトハ、是ハモウ農村一般ノ希望デアルノデアリマス、政府モ亦此米穀統制案ノ施行ニ依リマシテ、必ズシモ生産費ノ最低價格ヲ以テ理想トセラレヌト云フコトハ、私モ能ク先日ノ政府當局ノ御答辯ニ依ッテ、承知スルノデアリマシテ、相當ノ利潤ノアルヤウナ米價ヲ、維持セラレルヤウニ

ナルト思フノデアリマス、然ルニ此家計費ヲ決メラレル上ニ於キマシテ、勞働者、或ハ其他ノ俸給生活者ノ中庸ヲ採ッテ、都市ニ於ケル所ノ生活狀態カラ家計費ヲ御採リマシテ、ドレダケ米價ガシテ居レバ、生活ニ堪ヘ得ラレルカト云フコトカラ、米價ノ最高價格ヲ御決定ニナル、斯様ニ思フノデアリマスルガ、是ト反對ニ農村ノ家計ノ狀況ヲ御調べ下サッテ、農村ニハドレダケ米ノ値段ガシテ居ラナケレバ、農村ノ家計ハ立チ行カナイ、農村ノ生活ハ出來ナイ、斯ウ云フ方面カラ農村ノ經濟狀態、農村ノ家計ノ狀態ヲ御調べ下サッテ、之ヲ參考ニサレル必要ガアルト思ヒマスルガ、其點ハ如何ニ御考ニナルノデアリマスカ

○後藤國務大臣 最高價格ノ公定ヲ致シマス、ストキニハ、主トシテ米ヲ消費スル者ノ側カラ此問題ガ考ヘラレルノデアリマス、但シ一面ニハ、一般ノ經濟界ノ變化、物價ノ昂騰ト云フヤウナ、隨テ生産者ニモ生活ノ色々ノ向上ガ行ハレルト云フヤウナ場合ニ、公定價格ト云フモノヲヤハリ家計費カラ割出シタモノ、ミニ依ッテ、定メル譯ニハ參リマセヌ、物價其他ノ經濟事情ヲ參酌シテ行クト云フコトニ致シタ譯デアリマス、農村ノ爲ニ農村ノ家計費ト云フヤウナモノ

ヲ調べマシテ、サウシテ其家計狀況カラ、農村ノ事情ヲ能ク洞察シテ、施設ヲ致シマスト云フ事柄ハ、是ハ農林當局ガ農村一般ノ政策ヲ行フ上ニ、常ニ十分ニ注意ヲシテ行カナケレバナラヌ問題デアルト思ッテ居リマス、今直ニ家計米價ヲ決メルトキノ家計費ト云フモノニ、農村ノ家計ヲ調査シタモノカラ割出シタモノニ依ルト云フ譯ニモ、行クマイト思ヒマス

○三善委員 私ハ最高價格ヲ決定セラレレ場合デナクシテ、米ノ最低價格ヲ決定セラレルト同様ノ趣旨ニ於テ、農村ガ米ガ幾ラデナケレバ農村ノ生活ガ出來ナイ、或ハ農村ノ家計ガ出來ナイト云フヤウナ方面カラ御考ヘ下サッテ、最低米價ヲ決メラレル所ノ一ツノ參考ニスル必要ガアル、斯様ニ思フノデアリマスガ、其點ハ如何デアリマスカ

○後藤國務大臣 是ハ農村ノ生活狀態ト云フモノヲ見マシテ、ソレデ米穀政策ト云フヤウナ、全般ノ今度ノ統制々度ナドヲ立テルコトモ、ヤハリ農村ノ窮狀ニ對シテ、農村ニ安定ヲ與ヘタイト云フ考カラデアリマス、サウ云フコトノ色々ナ判斷ノ資料ニハ、十分致サナケレバナラスト思ヒマスガ、今回ノ最低價格ノ決定ハ、新統制法案ニ決マリマシタヤウナ譯デアリマス、直接ニ今申

上ゲタヤウナコトガ、直グ計算ノ上ニ入ッテ來ルト云フ譯ニモ參リ兼ネルノデアリマス

○久山委員 私ハ耕地整理ノ問題デアリマスガ、簡單ニ御尋ネ致シタイノデアリマス、今マデ全國ノ各府縣デ耕地整理ヲ非常ニ獎勵サレテ居ル、所ガ耕地整理ノ今日ノ成績カラ見マスルト、却テ農村ニ非常ニ疲弊ヲ來ス原因ニナッテ居ル、當局ニ於キマシテハ、耕地整理ノ將來ノ方針ニ對シテ、如何ナル御考ヲ御有チニナッテ居ラレマスルカ、簡單デ宜シウゴザイマス、チヨット御答置キヲ願ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 過去ニ於ケル大規模ノ耕地整理ニ、御話ノヤウナ事例モ多少アッタヤウデアリマス、併シ昨今農林省アタリデ助成ヲ致シテ居リマスル耕地整理ハ、元ノヤウニ區劃ヲ整理スルト云フ整理ヨリモ、用水、灌漑、排水等ノ事柄ノ施設ヲ中心ニシタ整理事業ガ、此頃可ナリ多ク行ハレテ居リマス、耕地整理ノ行キ方ニ付テモ、多少今日ハ變化シテ參リツ、アルヤウデアリマス、此行キ方ノ耕地整理デアリマスレバ、ソレガ適切ナ場所ニ行ハレ、バ、決シテサウ憂ヲ將來ニ貽スコトナク、ヤハリ農村振興ニ十分役立ッデアラウ、斯ウ考ヘテ居リマス

○土井委員 簡單ニ質問シタイノデスガ

○東委員長 土井君ノ質問ハ、生産費ノ總括シタ質問デスネ

○土井委員 サウデス、ソレト同時ニ議事進行デ申上ゲタイ、御承知ノ通り本案ニ對シテハ、各委員ヨリ御熱誠ナ質疑ガアッタ譯デアリマシテ、成ベクモウ質疑應答ハ重複ヲ避ケタイノデアリマス、其コトヲ申上ゲタイノデアリマス、先ヅ第一ニ生産費ノコトニ付テ御伺致シマス、第二ニ負債整理ノコトニ付テ、序ナガラ御伺ヒスルノデアリマス、第一ノコトデ御尋致シタイノハ、本法第二條第二項ノ生産費中ノ租稅公課ノ中ニハ、戸數割、水利費、部落費ヲ加入シ、更ニ米ノ生産地ヨリ買上場所ニ至ル運賃諸掛ヲ加ヘラレタイ、斯ウ云フ希望ガ御承知ノ通り殆ド漲ッテ居ル次第デアリマス、之ニ對シテ政府ノ御所見ハ如何デゴザイマセウカ

○後藤國務大臣 生産費ノ調査項目ノコトニ付キマシテハ、先程高田君カラモ御尋ガアリマシタガ、今御話ニアリマシタヤウナコトモ、其中ニ含まレテ居ッタノデアリマス、本法ノ施行ニ當リマシテハ、米穀生産費ノ項目ノ中ニ、現在調査シテ居ルモノ、外ニ、戸數割、水利費、部落費ト云フヤウ

ナモノ、一部ヲ加ヘルコトヤ、又生産費ノ外ニ運賃諸掛ノ點ヲ考慮スルト云フコトニ付キマシテハ、十分一ツ考究ヲ致シマシテ、出來得ル限り御希望ノアル所ニ適スルヤウナコトヲ、考ヘテ見タイト思ッテ居ルノデアリマス

○土井委員 能ク分リマシタ、ソレカラ極メテ簡單ニ負債整理ノコトニ付テ御尋ネ致シマス、詰リ時局匡救ノ四大決議ノアリシコトハ、御承知ノ通りデアリマス、其中ニ於テ負債整理、重要産業ノ統制ト云フ二ツノ重要ナコトガアッタコトモ、御承知ノ通りデアル、是ハ一方農民ニ對シ、又國民ニ對シ、一ツノ希望ヲ與ヘテ居ル、政府ハ一方ニ産業ノ統制、特ニ米穀統制ノ如キコトヲヤッテ、收入ノ増加ヲ圖ッテ呉レル、又一方ニハ從來ノ負債ノ整理ヲシテ呉レルト云フ此希望ニ依ッテ、樂ンデ生活スル、是ガ政治ノ要諦デアラウト思フノデアリマス、特ニ總理大臣ノ施政演說中ニ於キマシテモ、負債整理ハヤルト明ニ言明サレテ居ルノデアリマス、所ガ此頃ニ至ッテ新聞ヲ眺メテ見マスト云フト、此負債整理問題モ、雲煙過眼視サレルガ如キ記事ヲ見ルノデアリマス、是ハ現内閣ノ一大使命ニシテ、且ツ又此時局匡救ノ一大要務デアルト思フノデアリマス

ルガ、之ニ對シテハ如何ナル御態度ヲ御持
チニナッテ居ルノデアリマセウカ、之ヲハツ
キリ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 負債整理組合ヲ設置サセ
テ、負債整理ヲ容易ナラシメタイ事柄ハ、
前議會以來吾々モ希望ヲ有ッテ居タノデア
リマス、只今デモ之ニ關スル案ヲ得タイト
努力致シテ居ル譯デアリマス、左様御承知
ヲ願ヒマス

○東委員長 是デ質問ハ全部終了致シマシ
タ——是ヨリ討論ニ入りマス

○河野委員 私ハ本案ニ賛成スル者デアリ
マス、其賛成ニ當リマシテ、左ノ如キ附帶
決議ヲ附シテ賛成セントスル者デアリマス、
即チ

附帶決議

米穀統制ニ關シテハ更ニ調査研究ヲ爲シ
米穀政策ノ徹底ヲ期スルヲ必要ト認ムル
モ本法施行ニ關シテハ少クトモ政府ハ左
記事項ヲ考慮スベシ

一、本法第二條第二項ノ生産費中ノ租
稅公課ノ中ニハ戸數割水利費部落實費ヲ
加算シ更ニ米ノ生産地ヨリ買上場所ニ
至ル運賃諸掛リヲ加ヘラレタシ
一、朝鮮米臺灣米ニ付テハ本法所期ノ
目的ヲ達スル爲更ニ徹底の統制ノ方策

ヲ講ズベシ

ト云フ附帶決議デアリマス、此決議ヲ附ス
ルニ至リマシタ吾々ノ趣旨、竝ニ私ノ本案
ニ賛成セントスル趣旨ヲ、少シク此機會ニ
於テ述ベテ見タイノデゴザイマス、元來吾
吾ハ此米穀統制法案ヲ以テ頗ル不満足不
徹底ナリトスル者デアリマス、併ナガラ現
在ノ時局ニ鑑ミマシテ、竝ニ現在農民ノ米
價ニ對スル要望、又吾々農村ノ利害ヲ常ニ
主張致シマスル者ト致シマシテハ、少クト
モ過去ノ米穀法ヨリモ、現行ノ米穀法ヨリ
モ一段ノ進歩ヲシタルモノデアッテ、此法案
實施ニ依ッテ多少デモ農民ノ利益ガ保護セ
ラレ、農村ノ利益ヲ向上セシムルコトガ出
來ルト云フコトヲ認メマスガ故ニ、消極的
ナ意味ニ於テ吾々ハ最小限度ノ吾々ノ希望
ヲ滿タス意味ニ於テ、賛成スルノデアリマ
ス、即チ其意味合ハ本法ニハ左ノ如キ缺陷
ガアルト思フノデアリマス、第一ト致シマシ
テハ本法ガ其最低價格ヲ決定スルニ當リマ
シテ、全國ノ平均生産費ヲ以テ其最低價格
決定ノ基準トシテ居ル、茲ニ私ハ根本ノ矛
盾ガアルト思フノデアリマス、何故ナレバ
過般來委員會ニ於テ再三質疑應答ヲ重ネマ
シタ通り、我國ノ全體ノ生産費ヲ具ニ調査
致シマスル時ニ、朝鮮竝ニ臺灣ニ於ケル生

産費ト、内地ニ於ケル最高ノ生産費ニ依ッ
テ通算ヲ致シテ居リマスル米産費トヲ較ベ
マス時ニ、其間ニ於テ相當ノ開キノアルコ
トヲ吾々ハ認メルノデアリマス、サウ致シ
マスルト、常ニ米作ノ生産費ノ安い地方ノ
爲ニ、米作ノ生産費ノ高い地方ガ壓迫ヲ受
ケマシテ、高い生産費ノ地方ノ農村ハ、是等
臺灣朝鮮ノ米作者ノ爲ニ、遂ニハ自己ノ米
作農業ガ成立タヌ時機ガ來ハセヌカト云フ
コトヲ、憂フル者デアリマス、其意味ニ於テ
吾々ハ、少クトモ全國ヲ若干ノ區劃ニ分ケ
テ、サウシテソコニ價格ノ公定ナリ、統制
ナリ、管理ナリヲ行ハナケレバ、各地方ニ
於ケル農村ノ利益ガ擁護セラレルモノデハ
ナイト云フコトヲ、堅ク信ズル者デアリマ
ス、若シ專賣法ニ對シテ暫定的ニ一ツノ法
案ヲ作り、一ツノ施設ヲ行ハントスルナラ
バ、ドウシテモ只今申シマシタ通り、全國
ヲ四十ナリ五十ナリノ區劃ニ仕切ッテ、其處
ニ其地方ノ生産費ノ小サイ部分ノ平均生産
費ヲ以テ、公定價格ヲ作ルト云フコトガ、
絕對ニ必要ダト思フノデアリマス、若シソ
レヲシモヤルニ困難ガアルト云フナラバ、
吾々ト致シマシテハ絕對的ニ朝鮮ト臺灣ノ
米ニ對シテ、特殊ノ取扱ヲ爲サナケレバナ
ラスト云フ主張ヲ有ッテ居ル、然ルニ先日來

申シマス通り、朝鮮臺灣ハ内地ノ農家ニ比
較致シマシテ、政府ノ施設ソレ自身ニ於テ、
生産費ニ於テ非常ナ違ヒガ起ッテ居ルト云
フコトハ、明カナル事實デアリマス、先日
モ決算委員會デ承リマス所ニ依リマス、朝
鮮ニ於テハ水利組合ヲ作ル場合ニ、補助金
ヲ先ニ渡シテ居ル、内地ノ如ク事業ガ濟ン
デカラ補助金ヲ渡スニアラズシテ、水利組
合ニ向ッテハ補助金ヲ先ニ渡スト云フヤウ
ナ事マデシテ、朝鮮ノ農民ヲ保護シテ居ル、
其他明ナル事實ト致シマシテハ、生活費ガ
安ク、兵役ノ義務ヲ有ッテ居ラスト云フヤウ
ナ譯デ、内地ニ比ベテドウシテモ朝鮮ノ農民
ガ、安い米ヲ作ルコトガ出來ルト云フコト
ハ、一目瞭然ナノデアリマス、ソレヲ内地
ト同様ノ立場ニ於テ、此米價ヲ統制セント
云フ此法案ハ、根本ニ於テ缺陷ガアルト云
フコトヲ、吾々ハ考ヘルノデアリマス、併
シ此點ニ付テ先日來拓務大臣、農林大臣ノ
所見ヲ質シタノデアリマスルガ、拓務大臣ハ
非常ナル認識不足ト申シマス、誤解ノ爲
ニ吾々ノ意味ガドウモ能ク御分リニナラヌ
ヤウデアル、デ吾々ハ已ムヲ得ズ此點ニ付
テモ一步ヲ譲リマシテ、來ルベキ機會ニ此
點ヲ主張スルコトニ致シタイト思フノデ
アリマス、其他其根本ニ於テ吾々ガ更ニ一

ツ申上ゲタイノハ、此法案ガ從來屢、米價ノ問題ニ付テ議論サレル度ニ、論ゼラレマシタ所ノ特別會計ニ向ッテ、何等ノ根本的改正ヲ加ヘテ居ラス、依然トシテ從來ト同ジ立場ニ於テ、同ジ損ヲスルニ決ッテ居ル、今迄シタ一億八千萬圓ノ借金ニ付テモ、何等ノ改正ヲ加ヘスト云フコトデ、本當ニ一時胡麻化シノ瀾縫的ナル改正ヲヤッテ居ル、假令政府ハ之ヲ根本ニ觸レテ居ルト云フ意見ヲ有ッテ居ラレマスニ致シマシテモ、ソレハ全ク不可分ノ關係、乃至ハ此法案ヲ満足ニ實施スルニハ、絶對不可分ノ立場ニアル所ノ特別會計ノ改正ヲ、何等ヤッテ居ラナイ、單ナル消極的ノ資金増額ヲヤッタニ過ギスト云フコトデハ、何人モ此法案ガ三年五年ノ生命ハ無イダラウト言フヤウナ法案デアリマス、農林大臣モ此點ニ付テ成ベク速ニ適當ナ時期ニ考慮ヲシナケレバナラスト云フコトヲ、自ラ御認メニナリ、又サウ云フ御所見デアリマスカラ、吾々ハ是モ強イ意味ニ於テ、希望スルノデアリマス

今一點申上ゲテ置キタイノハ、此法案ヲ以テハ、統制セラルベキ最低最高價格内ノ米價ノ統制ハ、出來ヌダラウト云フ懸念デアリマス、ト申シマスノハ、政府ハ最低價格デ幾ラデモ買ヒ應ズル、最高價格デ幾ラデ

モ賣リ應ズルト云フコトハ言ッテ居リマスカ、一般ニハ恐ラクサウ云フ面倒ナ事ヲヤッテ、政府ニ買ッテ貰フヨリモ、少々安クテモ近クノ商人ニ買ッテ貰フト云フコトガ起ッテ來ル、是ハ例ハ當ルカ當ラナイカ知リマセヌガ、勸業銀行ナリ、農工銀行ナリカラ金ヲ借りレバ、年賦デ安イ利息デ借りラレルニモ拘ラズ、市中銀行カラ骨ヲ折ッテ手数料迄出シテ、農村ガ苦シイ金融ヲシテ居ルト云フノ同ジデアル、是ハ一寸極端カモ知レマセヌガ、實際ニ此法案ヲ運用シタ時ニ、五俵十俵ノ米ヲ賣ラウトシテ、市價ハ最低價格ニ近ゾイテ居ッテ、政府ニ買ッテ貰ハウト思ヘバ買ッテ貰ヘル値段ニナッテ居リマシテモ、恐ラク農村ニ於テハ、ソレヨリ五分ナリ一割幾ラカ安イ値段デ、近クノ商人ニ買ッテ貰フト云フヤウナ狀態ニ、置カレルコトハ當然デアリマス、之ニ向ッテ何等此法案ハ考ヘテ居ラスノデアリマス、玆ニ非常ナ缺點ガアル爲ニ、特ニ中小農ニ取ッテ、愈々苦シクナッタ時ニ役ニ立タナイ法案デアルト云フコトヲ、吾々ハ考ヘルノデアリマス、デ、ソレ等ノ缺陷ヲ有チマスガ故ニ、私ハ此法案ニ向ッテ消極的ナ賛成ヲスルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

次ニ更ニ數項ノ希望ヲ附シテ置キタイノデアリマス、ソレハ生産費、家計費ノ調査ハ固ヨリ、米價決定ノ上ニ於テハ、米ノ數量ガドウ云フ風ニ動イテ居ルカ、ドレダケ出來タカ、ドレダケ在ルカト云フコトヲ、常ニ政府ハ調査ヲセナケレバナラス、從來ノヤウニ政府ノ御役人ノヤル仕事ニ、何ガ當テニナルモノカト言ハレルヤウナ一般ノ觀念ヲ、全ク棄テシメルヤウニ、本當ニ思切ッテ金ヲ使ッテ、十分ナル調査ヲスル必要ガアル、事苟モ農村經濟ノ根幹ニ觸ル、問題デアリマスカラ、此點ニ向ッテハ如何ニ金ヲ御使ヒニナッテモ、一向差支ナイト思フ、殊ニ先日ノ永井拓務大臣ノ答辯ノ如キ、何等朝鮮總督府ニハ調査ガナイ、計數的基礎ヲ有ッテ居ラスト云フヤウナ無責任ナル關係ニ、斯ノ如キ問題ノ論議ヲサレルコトハ、非常ニ遺憾ト致シマスカラ、特ニ此點ニ付テ希望ヲ付シテ置クノデアリマス

第三番目ニハ生産費ト家計費ノ決定ニ當ッテハ、政府ハ特ニ農民ノ爲ニ親切ナル態度ヲ執ラレタイト云フ點デアリマス、此點ニ付キマシテハ、先日來勅令ノ内容要項ヲ具サニ御見セ願ッテ、勅令ノ要項ニ從ッテ吾ハ審議ヲシタカッタノデアリマスガ、取急イダ際デアッテ、政府ニモ十分ノ準備ガナイト云フコトデアリマスカラ、甚ダ殘念ナガラ、吾々ハ此點ニ觸レズシテ、單ナル希望ヲ申上ゲテ、之ニ賛成ヲスルノデアリマス、即チ過去ノ實例ニ徴シマス、昨年ノ六十ニ議會ニ於テ吾々ガ生産費ヲ最低價格トシテ政府ハヤレト云フコトヲ決メタニ對シテ、其後決ッテ所ノ米ノ生産費ハ幾ラニナッタカト云フト、二十圓五十錢ガ二十圓九十錢カニ變ッタト云フヤウナコトデ、吾々ノ希望ヲ裏切ルコト甚シイモノガアルノデアリマス、其由ッテ來ル原因ハ何處ニ在ルカト申シマス、勿論勅令ノ内容ニモ缺陷ガアリマス、ソレハ先程土井委員カラ政府ニ要求セラレマシタ通り、吾々ハサウ云フ點ニ付テ特ニ考慮セラレタイト云フコトハ、勿論デアリマスルガ、更ニ進ンデ、昨年政府ガ御決メニナッタヤウニ、米ノ生産費ヲ御採リニナルノニ、最低十五圓以上三十圓以下ノ米ノ生産費ヲ以テ、稍々常識ニ合ッタモノ

デアル、妥當ナルモノト認メテ、ソレ等ノ平均生産費ヲ以テ決メ、其後第二回目ノ際ニハ、十八圓以上三十圓以下ノ米ノ生産費ノ平均ヲ以テ妥當ナリトシテ、御決メニナッタコトハ、非常ニ農民ニ對シテ不親切ナルヤリ方デアルト云フ意見ヲ、私ハ有ッテ居ルノデアリマス、何故カナラバ、政府ハ何故十五圓以上三十圓ヲ以テ妥當ナル米ノ生産費トシテ、御採リニナッタカ、吾々ガ考ヘマスノニ十五圓ト云フノハ、最近ニ於ケル正米市場ノ最低ノ價格デアアル、實際現實ニ相場ニ現レタ價格ニ依ッテ見マス、一石十五圓ト云フノハ、最近現レタ數字トシテハ最低ノモノデアアル、其現實ニ現レタ最低ノモノヲ御採リニナルナラバ、最高ノ價格トシテハ少クトモ四十五圓トカ四十八圓トカ云フ最高價格ガ、現ニ米價ノ上ニ現レタコトモアル、サウ致シマスレバ、最低ヲ十五圓トシタナラバ、最高ハ少クトモ四十五圓ナリ五十圓ヲ採ルコトガ、農村ノ爲ニ親切ナルヤリ方ト私ハ考ヘルノデアリマス、若シ十八圓ヲ以テ最低トスルナラバ、三十五圓ナリ三十八圓ヲ採ルコトガ、妥當ト考ヘルト云フ意味デアリマス、今後御決メニナル場合ニハ、サウ云フ意味合デ御決メヲ願ヒタイト云フコトヲ、希望シテ置キマス

最後ニハ今後米穀政策竝ニ之ニ關聯スル所ノ各種ノ農村行政ヲ御實施ニナル場合ニハ、農林省、商工省、拓務省等ノ農村ニ非常ニ關係ノ深い各省ハ、十分連絡ヲ取ッテ其間ニ意見ノ不一致ヲ見ヌヤウニシテ戴キタイ、常ニ各省大臣ノ間ニハ十分ナル意見ノ交換ヲシテ戴キタイト云フ點デアリマス、私ハ嘗テ非常ニ財政通ヲ以テ任ジ、自他共ニ許シテ居ッタ所ノ濱口總理大臣ニ伺ッテ、米ハ今幾ラシテ居ルカト云フコトヲ聽イタ時ニ、濱口サンガ知ラナカッタコトガアル、是ハ私ガ自分デ御聽キシテ濱口サンカラ其時ニ伺ッタノデアリマスカラ、間違ナイノデアリマス、エテシテ一國ノ大宰相ヤ閣僚ニナラレマス、米トカ生絲トカ云フヤウナ問題ヲ輕ンゼラレル場合ガ多イ、一樞密院顧問官トカ、勅選議員ノ銓衡ニハ色々苦心ヲスルガ、米ヤ生絲ニ付テハエテシテ其價格ヲ忘レテ居ルト云フ人多イ、濱口サンノ例ヲ引クノハ當ヲ得テ居ルカドウカ分リマセヌガ、斯ウシタ最モ財政ニ精通シテ居ラレル人ニ委セテ置ケバ間違ナイト、世間ガ期待シテ居ッタ其人ニスラ、斯ウ云フコトガアッタノデアリマス、甚ダ失禮カモ知レマセヌガ、恐ラク今日現在ノ關係ニ對シテ、今日ノ米ノ値段ハ幾ラカト尋ネルト、知ラ

ヌ人ガ半分以上ダト私ハ思フ、デアルカラ少クトモ農林、商工、拓務、是等ノ大臣ハ、常ニ農村問題ニ付テ十分ナル考慮ヲ拂ッテ、米ノ問題ニ付テハ農林省ト拓務省ノ間ニ意見ノ不一致ヲセヌ、何時デモ十分ニ一致シテ置ク、朝鮮、臺灣ノ米ニ付テ意見ノ不一致ハナイト云フヤウナ風ニ、深甚ナ考慮ヲ拂ハレテ、常ニ親切ニ農村ノ爲ニ御盡シ願ヒタイト云フコトヲ、特ニ希望致シテ本案贊成ノ意ヲ表シマス

○八田委員 此機會ニ一寸委員長ノ御許シヲ得テ、希望ヲ茲ニ表示致シテ置キタイト思ヒマス、先刻河野君ノ少クモ左ノ條項ヲ考慮スベシト云フ、政府ニ要望スル此決議ニ付キマシテハ、非常ニ贊成デアリマシテ、特ニ私ハ此際斯ウ云フコトヲ希望シテ置キタイノデアリマス

本法施行前ニ於ケル昭和七年度産米ニ付政府ハ適當ノ方法ヲ講ジ、其價格ノ維持ニ努ムベシ

斯ウ云フ希望ヲ表示シテ置キタイノデアリマス、先程河野委員カラシテ、特ニ此點ニ付テ御話ガアリマシタ通り、此統制法案ハ、頗ル進ンダモノデアリマスルケレドモ、未ダ本當ニ徹底ハ致シテ居リマセヌケレドモ、特ニ吾々ノ遺憾ニ感ジマスルコトハ、

本統制案ガ、本年ノ十一月カラニアラザレバ、此法ヲ運用スルコトガ出來ナイト云フ遺憾事ガアルノデアリマス、吾々ハ昨年第六十三議會ニ於キマシテ、米價ノ問題ニ付テアノヤウニ上下兩院ヲ擧ッテ協議會マデモ致シテ、茲ニ最低價格ヲ決定スル基礎ヲ生産費ニ置クト云フヤウナ、進ンダコトニナッテ參リマシタケレドモ、昨年十二月十五日ノ米穀委員會ノ決定ハ、二十圓八十六錢ト云フ價格デアリマス、此價格ハ、總デノ價格ニ比シテ米價ガ、相當ノ價格デナクシテ安クテ困ルト云フコトハ、本會議ニ於テモ亦此委員會ニ於テモ、各位ヨリ政府ニ對シテ質問サレ、ソレニ對シテ色々所見ヲ披瀝サレタ次第デアリマスガ、吾々ハ此二十圓八十六錢ト云フモノヲ、米價ノ最低價格トシテ決定セラレタルコトハ、當ヲ得ザルモノデアッテ、此統制法ノ現ハレタル所以モ、其處ニアルト感ジマスルガ、此缺陷ニ對シテ今ヤ之ヲ補フダケノコトガ出來ナイ、矯正スルコトガ出來ナイト云フヤウナ状態ニアルコトハ、頗ル遺憾デアリマスルカラシテ、茲ニ政府ハ此價格ノ維持ノ爲ニハ、色々方法ヲ講ズレバ出來ナイコトハナイ、經濟ノ情勢ノ變化ニ依ッテ、勅令ヲ改メルトモ出來ルノデアリマスシ、又買上、買換、

斯ウ云フヤウナコトヲ致シマシテ、價格ノ維持ニ努メテ、今現在其當ヲ得テ居ナイ價格ヲ——昭和七年度ノ產米ニ對シテハ、統制法ヲ運用スル以前ノ間ニ於テ出動ヲ致シテ、サウシテ此價格ヲ適當ニ維持セシムルト云フコトガ、最モ今日農村ノ情勢ヲ救フ上ニ於キマシテ、親切ナルモノナリト私ハ感ズルノデアリマス、是ハ宜シク此方面ニ對シマシテ、親切ナル考慮ヲ拂ハレ、サウシテ適當ノ方法ヲ講ジタナラバ、決シテ價格ヲ下ゲルヤウナコトナク、上ゲルコトガ出來ル、從來ノ米穀法運用ノ經過カラ申シマスルト、何時デモ出動シテ買上ゲテ居ル、今日マデハ五月ニモ九月ニモヤッテ、サウシテ此端境期ノ米ヲ高クスルト云フヤウナ方法ヲ、以前米穀法ニ於テハヤッテ居ッタノデアリマスカラシテ、未ダ此法ノ施行サレナイ今日ニ於テハ、ヤレバ出來ナイコトハナイノデアリマスカラ、親切ナル考慮ヲ拂ッテ、サウシテ將ニ此不當ナル下落ヲ告ゲントスル狀況ニアル今日ニ於キマシテ、政府ハ此點ニ十分ニ御注意ニナッテ、サウシテ此價格ノ維持ニ努メルヤウニ御願ヒ致シタイ、此希望ヲ付シマシテ、私ハ御賛成ヲ得テ、サウシテ政府ニ要望ヲ致シタイト思フノデアリマス

○高田委員 私本案ニ賛成ノ理由ヲ極メテ簡單ニ申上ゲテ見タイト思ヒマス、河野君ヨリ賛成ノヤウナ反對ノヤウナ、結論ハ御賛成ニナッタヤウデアリマスガ、御賛成ガアリマシテ、私共成程本案ヲ以テ絶對理想ノ案デアルト言フコトハ無論出來マスマイ、或ハ絶對理想ノ考ト致セバ、全然政府ノ力ニ依ラズシテ、生産者ノ組合ノ自治的統制ニ依ッテ農業生産者ノ利益ヲ圖ルト云フコトガ、理想デアアルカトモ存ジマス、併ナガラ産業組合ノ發達、農業倉庫ガ現状ノ如クデアリマシテハ、所謂生産者ノ力ニ依テ自治的統制ヲ爲スノ目的ヲ達スルコトハ出來マセヌ、或ハ又世ニ所謂管理案、專賣案、是ハ理想トスレバ結構デゴザイマセウ、私モ個人トシテハ若シ生産者ノ自力統制デ其目的ヲ達スルコトガ中々不可能ナル場合ニ於テハ、政府ノ力ニ依ッテ、專賣ト云フヤウナ時代モ來ナイデハナイトモ思ヒマス、併ナガラ此管理統制モ、又專賣モ極メテ至難デアル、御承知ノ通り米穀統制委員會ニ於テ公定制度、管理制度、或ハ專賣制度ガ能ク審議サレマシタガ、到底今日ノ實情ヨリ見テ、實行不可能ノモノデアルト云フコトニ、結論ガ歸著致シマシタ、サウシテ今度政府ガ提出致シタ所ノ法案ノ基礎ガ、絶對

公定モ出來ナイ、管理モ出來ナイ、專賣モ出來ナイト云フコトニ於テ、ソコデ本法ノ基礎トナルベキ諮問案ノ答申ガ出來タノデゴザイマス、故ニ私共ハ絶對理想ノ統制案デハナイガ、今日ノ財政事情、今日ノ社會事情ヨリ見テ、此案ヲ以テ相當進ンダル案デアルト信ジマシテ、此案ニ同意ヲ表スル次第デゴザイマス、而シテ私共ハ二ツノ希望ヲ付シタイト思フノデアリマス、第一ハ本法第四條ノ事項、即チ季節的買上ニ依ッテ生ズル憂ヲ除ク爲ニ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、第四條ノ實行ニ依ッテ月別平均のナラシメントスル目的ガ、或ハ恐ル、月別平均のニ出ルコトヲ却テ阻害スルト思フノデアリマス、是ニ於テ産業組合、農業倉庫ニ對シテ相當ノ助長行政ヲ一層切實ニ致シテ、所謂自治的統制ノ目的ヲ達シナケレバ、ドウシテモ第四條ノ季節的買收ノ效果ヲ奏スルコトガ出來ナイト思フガ故ニ、茲ニ一ツノ希望ヲ付スルノデゴザイマス

政府ハ本法運用ノ效果ヲ完カラシムル爲メ産業組合、農業倉庫等ヲ指導シ自治的統制ノ實ヲ舉クル施設ヲ講スルコトスウ云フ希望ヲ付シタイト思フノデアリマス、第二ハ第十條ノ事項ノ問題デゴザイマス

米穀生産費、家計費並ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生産高、現在高、移動及價格ノ調査ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

之ニ付テハ先程大臣ノ御答デハ、八年度ノ追加豫算ニ於テモ、或ル程度ノ御要求ヲナサッテ居ルト云フヤウニ承リマシタガ、是ハ中々多額ノ金ヲ要スルト思ヒマス、私ガ茲ニ詳シク理由ヲ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスシ、是ハ誰方モ分ッテ居ルガ、實際ノ此基礎調査ガ完全デナケレバ、第四條ノ發動モ、或ハ又朝鮮米、臺灣米ニ關スル統制ノ問題モ、非常ニ誤ッタ施設ヲ行フノ已ムヲ得ザルニ至ルト存ジマスカラ、所謂第十條ノ事項ニ付テ

米穀ニ關スル各般ノ統計調査ノ整備ヲ圖リ以テ本法發動ノ基調ヲ的確ナラシムルコト

斯ウ云フ希望ヲ付シタイト思フノデアリマス、此二ツノ希望ヲ付シマシテ、絶對理想ノ案デハナイガ、今日ノ財政上、經濟上、社會上、此案ヲ以テ満足スベキモノデアルト信ジマシテ此案ニ同意致シマス

○由谷委員 私ハ國民同盟ノ立場ニ於テ、本案ニ對スル考慮ヲ致シマシタガ、吾々モ亦此米穀統制法案ガ、現行法ヨリ少シハ進

ンデ居ル位ノコトハ分ルノデアリマス、唯此議會ニ非常時内閣ノ農村匡救ニ關スル一ツノ施設トシテ出マシタ米穀統制法案トシテ之ヲ見ル時ニハ、私共幾多ノ不滿ヲ有ツノデアリマス、殊ニ此統制案ガ今マデノ米穀法ト同ジヤウナ立法精神ニ立チマシテ、最高最低ノ相場ヲ決メル、言ヒ換ヘレバ消費者ノ階級ト生産者ノ階級トニ旨ク行クヤウナ方法ヲ取ラウト云フ所ニ、實ハ此法案ノ大キナ缺陷ノ根本ガ横ハルモノデアルト思フノデアリマス、農村匡救ノ事業トシテ考ヘルナラバ、米穀法ハ農民本位ノ立場ニ於テ立法サレテ居ルシ、若シ消費階級ガ生活ノ脅威ニ襲ハル、ト云フナラバ、是ハ別ノ社會立法ニ依ッテ如何ナル方法デモ行ヒ得ルノデアリマス、唯此法案ガ此議會ニ出ルベク餘儀ナクサレマシタ昨年カラノ經過ニ鑑ミマシテ、農民本位ノ上カラドウシテモ考ヘテ見ナケレバナラヌコトニナルト考ヘルノデアリマスガ、此意味カラ言ッテ吾々多クノ不滿ヲ有ツ、政友會、民政黨ノ諸君ガ御指摘ニナツタヤウナ生産費ノ内容ニモ不滿ガアリマスシ、更ニ最高最低米價ノ値幅ヲ放任シテ置クコトニモ大キナ不滿ガアリマスシ、竝ニ自作農、小作農ノ直接生産者ノ飯米ノ生産費ニ對スル國家的補助ト申

シマスカ、國家的補助ノナイ建前ニ於テモ、非常ナ遺憾ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、特ニ一番大キナ缺點ト考ヘルノハ、米作ニ關スル農業利潤ノ原則ニ於テ認メザル政府ノ態度デアリマス、吾々重要農産物ノ價格統制ハ、今必然ノ勢ニ迫ッテ居ルコトヲ知ッテ居リマス、是ハ農林大臣ト雖モ御否定ニナラヌト考ヘマスガ、其重要農産物ノ價格統制ニ進ム第一歩トシテノ此統制案ヲ見ル時ニ、農業利潤ニ對シテ原則的ニ之ヲ認メナイト云フコトハ、日本ノ農村經濟ヲシテ未來永劫浮カバセナイ、無間地獄ニ追放スルト同ジヤウナ無情冷酷ト思フノデアリマス、吾々斯ウ云フ見地カラ特ニ米穀統制法案ニ對シテ農業利潤ニ付テ強イ、原則的ナ、法制的ナ主張ヲセネバナラヌト考ヘテ居リマスガ、詳細ハ本會議ノ議場ニ於テ發表スルコトト致シマシテ、私此意味ニ於テ、本日ノ討議ニ關シマシテハ、本法案ニ對スル贊否ノ意見ヲ保留シテ置クコトニ致シマス

○土井委員 私ハ只今河野君ガ動議トシテ提出サレタル附帶決議ニ、贊成ヲ致ス者デアリマス、附帶決議、米穀統制ニ關シテハ更ニ調査研究ヲ爲シ、米穀政策ノ徹底ヲ期スルヲ必要ト認ムルモ、本法施行ニ關シテハ少クトモ政府ハ左記事項ヲ考慮スベシ

一、本法第二條第二項ノ生産費中ノ租稅公課ノ中ニハ戶數割水利費部落費ヲ加算シ、更ニ米ノ生産地ヨリ買上場所ニ至ル運賃諸掛リヲ加ヘラレタシ、一、朝鮮米臺灣米ニ付テハ本法所期ノ目的ヲ達スル爲更ニ徹底統制ノ方策ヲ講ズベシ」是ガ河野君ノ提案サレタル附帶決議デアリマス、此附帶決議ニ私ハ贊成致ス次第デアリマス、更ニ附帶決議中ニ米穀政策ノ徹底ヲ期スルヲ必要ト認メル故、更ニ調査研究ヲ爲サレタイト云フ意味ガ含マレテ居リマスガ、其點ニ付テハ河野君モ縷々御述べニナリマシタガ、私ハ極メテ簡單ニ、ドウ云フ點ガ現在ノ米穀統制法案ガ不完全デアルカト云フコトヲ、一言申上ゲテ見タイト思ヒマス、御承知ノ通り米穀法ハ常平倉ヲ眞似テ御作りニナツタモノデ、大正十年ニ出來タノデアリマス、ソコデ數量ノ調節サヘスレバ、隨テ價格ノ調節モ出來ルモノナリ、斯様ニ考ヘテヤッテ居ッタ、所ガ中々數量ノ調節ノミニ依ッテハ、價格ノ調節ガ出來ナイ、ソコデ第二ニ價格調節ト云フコトニ改正ヲ加ヘタノデアリマス、所ガ第三次ト致シマシテ、ドウモ價格ノ統制モ巧ク行カナイト云フコトデ、御承知ノ通り率勢米價ト云フ制度ヲ採ッタ次第デアリマス、是モ巧ク行カヌ、ソコデ段々

變轉致シマシテ、今日ノ米穀統制法ノ御提案トナツタ次第デアリマス、何故ニ此常平倉式ガ巧ク行カナイカト云フコトヲ申上ゲテ見タイ、此事ヲ申セバ直ニ今日ノ米穀統制法ノ缺陷モ、御發見下サルト思フノデアリマス、恰度常平倉ハ御承知ノ通り、支那ノ周ノ時代ニ行ハレタノヲ、徳川時代ニ之ヲ眞似タ、特ニ大阪ノ中井履軒或ハ竹山ト云フ人ガ之ヲ眞似デ、日本全國ニ倉ヲ澤山拵ヘタ、今日ノ農業倉庫ノヤウナモノヲ拵ヘタコトハ、御承知ノ通りデアリマス、ソコデ此數量ノ調節デ、價格ノ調節モヤッテ見ヨウト考ヘテ見タイ所ガ、巧ク行カナカッタ爲ニ、幕府ハ此時代ニ於テ今日ノ定期取引、斯ウ云フ仕事ヲ堂島デヤッタノデアリマス、ソコデ米ガ愈々安クナルト云フ時ハ、ドン／＼幕府ハ定期デ買フ、餘ッテ仕方ガナイ時ハ定期デ買フ、斯ウ云フヤリ方ヤッテ居ッタ爲ニ、稍々完全ニ數量ノ調節モ、價格ノ調節モ出來タノデアリマス、所ガ從來ノ米穀法ノ缺陷ハ何處デアルカト申セバ、今ノ時代ニ於テ政府ガ定期取引ヲヤルト云フコトハ出來ナイ、ソコデ已ムナク米ヲ現實ニ買フ、所ガ政府ハ米ヲ有ッテ居ルゾト云フノデ、却テ是ガ安クナル原因トナルノデアリマス、ソコデ之ヲ完全ナラシメヨウトスルナラバ、從

來ノ米穀法デモ宜シイ、政府ニ定期ヲヤル
權能ヲ與ヘテ置イタナラバ、容易ニ價格ノ
調節ト云フモノガ出來ルモノナリト私ハ確
信シテ居ル、ソコデ今回御提出ニナリマシ
タル所ノ米穀統制法案ハ、定期ハ出來ナイ
カラ、定期ニ代ユルニ何カ法律ノ威力ヲ有ッ
テシヨウ、ソコデ公定制度ナルモノヲ御探
リニナリ、且又一方ノ特別會計ニ於テ、資
金ヲ御殖ヤシニナッタノデアリマス、ソコデ
必ズヤ政府ハ斯ウ御考ニナッテ居ルノデア
リマセウ、此法律ト此金ト、此威力ニ依ッテ
昔ノ徳川時代ニ定期取引ヲ幕府ガヤッタト
同ジ位ノ、效果ガアルデアラウト考ヘタモノ
デアル、ソレガ抑、ノ誤リデアリマス、到底
四億ヤソコノ金ヲ持チマシテハ、此莫大
ナル米ノ價格ト云フモノヲ動カサウ、或ハ
高クシヨウ、或ハ安クシヨウ、或ハ公定シヨ
ウト云フコトヲ御考ヘナサッテモ 必ズヤ其
目的ヲ全フスルコトガ出來ナイト私ハ考ヘ
ルノデアリマス、此點ニ付テハ河野委員ヨ
リ縷々資金ノ缺乏ヲ來タス時ガアルデアラ
ウト云フコトヲ言ハレマシタガ、私モ其事
ヲ痛感シテ居ル次第デアリマス、然ラバ將
來如何ナル根本對策ヲ樹テルカト云フナ
ラバ、色々アルデアリマセウ、專賣法ヲ論
ゼラレル人モアリマス、又管理制度ヲ御述

ベニナル方モアリマス、又自力統制ヲ述ベ
ラレル方モアリマス、專賣法或ハ管理法ト
云フモノハ、直ニ行ハレナイノナラバ、
少クトモ此自力統制ノ途ト云フモノハ私ハ
行ハレルモノト確信シテ居リマス、現ニ重
要産業統制法ニ於キマシテハ、肥料デア
ルトカ、「セメント」デアルトカ、色々モノ
ノ統制ヲ致シテ、價格ノ維持ヲ圖ッテ居ル、
然ルニ米ガ何故ニ出來ナイカ、農家ノ數ガ
多イカラデアルト御考ヘナサルカ知リマセ
ヌケレドモ、農家ノ數多クアリト雖モ、產
業組合ヲ作ッテ居ルガ如ク、販賣統制組合ト
云フモノヲ公認スル、併ナガラ販賣統制組
合ト云フモノハ強制加入トラシムベシ、又
強制設立トラシムベシト云フコトニスレ
バ、日本全國ニ販賣統制組合ト云フモノガ
出來マス、之ヲ單位トシテ、即チ産業統制
法ノ精神ニ則リ、經濟上ノ「カルテル」ヲ行
フコトニ致シタナラバ、國モ左程金ハ要リ
マセヌ、農民ノ自力ニ依ッテ、米ノ價格ヲ維
持スルコトガ出來ル、却テ高クナルカモ知
レマセヌ、其高クナルコトヲ抑ヘル、今日
ハ安イモノヲドウシテ上ゲヨウカト御考ニ
ナッテ居リマスガ、只今述ベマシタ自力統制
ニ依リマシタナラバ、米ハ高クナル、即チ
農家ハ月別平均ヲ以テ出ス一定ノ價格ニ非

ザレバ賣ラナイ、然ラバ米ニ對スル金融ノ
方ハドウスルカト申セバ、農業倉庫法ヲ運
用致シマシテ、金ヲ貸シテ行クト云フ仕組
ニスレバ、サウ大シタ金ハ要ラズシテ、茲ニ
七億圓積ンダ、又是ガナクナッテ十億圓ニシ
タト云フヤウナ危險ガ、一切ナクナルノデ
アリマス、而シテ農民ノ自力ニ依ッテ價格
ヲ統制シ、寧ロ政府ハ高イノヲ抑ヘル、今
日農民ノ考ヘテ居ル通りノコトガ行ハレハ
シマイカト云フコトヲ、私ハ確信致スノデ
アリマス、併ナガラ左様ナコトヲシタラ消
費者ハ困ルヂヤナイカ、或ハ勞働者或ハ
「ルンペン」ナドガ米ガ高クナッテ困ルト言
ヘバ、ソレハ又別ノ方法ヲ以テ、此米穀統
制以外ノ方法ヲ以テ、ソレ等ヲ救済スルト
云フ途ヲ立テ、行ク、是等ガ先刻申シマシ
タ通り、調査研究ヲシナケレバナラヌコト
デアル、專賣法モ可ナリ、管理法モ可ナリ、
ソレ等ハ理想ニシテ直ニ行フコトガ出來ナ
イトスルナラバ、只今私ノ申シマシタ所ノ
販賣統制組合法ト云フ法律ヲ御出シニナッ
タナラバ、金ヲ使ハズニ、損ヲセズニ、又非
常ニ莫大ナ金ヲ何度モ何度モ拵ヘズトモ、
其目的ヲ達スルコトガ出來ルモノト、確信ス
ル次第デアリマス、故ニ「米穀法ニ關シテ
ハ更ニ調査研究ヲ爲シ、米穀政策ノ徹底ヲ

期スルヲ必要ト認ム」ト書イタ理由ハ、茲
ニアルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ
附帶決議ニ贊成ヲ致シ、且ツ只今申シマシタ
通り、河野委員ノ御述べニナリマシタ通り、
消極的贊意ヲ表スル次第デアリマス
○高橋委員 本法案ニ對シテハ、既ニ我黨
ノ態度ヲ明ニシタノデアリマス、河野委員
ガ提出致シマシタ附帶決議ノ二項、竝ニ其
前提トシテノ前文ニ對シマシテ、贊意ヲ表
シタイト思ヒマス、今土井委員ヨリ更ニ米
穀政策ニ對シテノ將來ニ對シテ、色々ノ具
體的ノ意見モアリマシタ、大體ニ於テ私共
モ同様ノ見解ヲ有ツ者デアリマス、殊ニ總テ
ノ現在ノ經濟機構ガ、自由資本主義ノ上ニ
立ッテ居ルト云フ建前カラ致シマスレバ、矢
張優秀ノ結果ヲ得ルモノハ、自力統制、自
治統制ヨリ外ニ途ハナイト、斯ウ私共ハ考
ヘテ居ル、ソコヘ行キマス過程トシテ色々
ノ方法ハアルカモ存ジマセヌ、是等ハ總テ
更ニ調査研究ヲスル必要ガアルコトハ申ス
迄モアリマセヌ、隨ヒマシテ私共ハ此河野
君ノ附帶決議ニ、贊意ヲ表スル者デアリマ
ス、尙ホ第一項ノ生産費ノ計算方法、竝ニ運
賃諸掛ノ計上ト云フヤウナコトハ、既ニ委
員會ノ質疑應答ノ中ニ、十分盡サレテ居リ
マスノデ、吾々ノ意嚮ハ分ッテ居ルト思ヒ

マスカラ、今更贅言ヲ加ヘズニ賛成ヲ致シマス、第二項ノ「朝鮮米、臺灣米ニ付テハ、本法所期ノ目的ヲ達スル爲メ、更ニ徹底の統制ノ方策ヲ講ズベシ」ト云フ、斯ウ云フ案文デアリマスガ、固ヨリ米穀ノ價格維持ヲ圖リ、價格ノ安定ヲ圖ル爲ニハ、此朝鮮米、臺灣米ニ對シテ、或種ノ統制權力マデ有タヌケレバ、中々徹底シタ實現ヲ期スルコトハ出來ナイコトハ、申ス迄モアリマセヌノデ、之ニ對シマシテモ私共ハ賛意ヲ表スル者デアリマス

○東委員長 討論ハ是ニデ終結致シマシタ、採決ヲ致シマス、米穀統制法案ト米穀需給調節特別會計法中改正法律案ノ二案デアリマスガ、採決スル前ニ、希望ノ條件ガ出デ居リマス、八田君ヨリシテノ希望、民政黨ヲ代表シテノ高田君ノ希望、是ハ採決ヲ致サヌデ、委員長カラ特ニ此趣意ヲ、本會ニ述ベロト云フコトデアリマスカラ、左様取計ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○東委員長 附帶決議トシテ河野君ヨリ動議ヲ出サレマシテ、土井君、高橋君等ノ賛成ガアリマシタガ、此附帶決議ハ矢張採決ヲ致シテ決定ヲスル考デアリマス、先ヅ此附帶決議ニ付テ賛否ヲ決シマス、附帶決議

ニ賛成ノ方ノ御起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○東委員長 多數——附帶決議ハ可決サレマシタ、ソレデハ米穀統制法案外一件ニ對シテノ採決ヲ致シマス、此法案ニ賛成ノ御方ノ起立ヲ願ヒマス

〔贊成者起立〕

○東委員長 多數——是ニテ本法案二案共、可決確定致シマシタ（拍手）連日非常ナ御勤勉デ、洵ニ順調ニ進ミマシテ有難ウゴザイマシタ、是デ總テヲ閉會致シマス

午後三時四十分散會

衆議院米穀統制法案外一件委員會議錄第九回中正誤

頁	段	行	誤	正
一二	二	六	臺米	代米

昭和八年三月三日印刷

昭和八年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所